

(別紙－２)

## 下久保ダム密度流排砂施設機能検討業務（仮称） 業務内容（案）

### １．業務目的

本業務は、下久保ダムに設置している表面取水設備について、密度流排砂の機能を付加するための施設改良又は代替施設の検討を行うものである。

### ２．業務内容

#### ２-１ 設計計画

本業務の目的及び内容を十分に把握し、円滑な業務の遂行が出来るよう業務計画書を作成する。

#### ２-２ 現地踏査

貸与資料を基に現地踏査を行い、現況施設の状況、周辺の状況及び近接構造物等を把握し、あわせて施工の観点からも現地状況を把握し整理する。

#### ２-３ 基本事項の検討

現施設の諸元、改良目的及び必要とする機能条件を確認・整理し、現施設の改良方策として取水設備の構造形式、巻上機の構造等に関して基本事項の比較検討を行う。

なお、現施設において、密度流排砂の機能を付加することが諸条件から不可能な場合は、これに替わる選択取水機能のある施設で構造等の比較検討を行う。

#### ２-４ 構造検討

２-３ 基本的事項の検討において選定した改良施設又は代替施設の構造を検討する。あわせて概略数量の算出と図面として施設の全体図や計画一般図等を作成する。

#### ２-５ 施工計画検討

選定した施設計画について①施工法（施工方針、施工順序及び施工機械等）、②仮設計画（主要仮設構造物の規模と諸元）、③施工条件（施工時の水位制限）、④全体計画（工程計画）等の比較検討を行い、最適な施工計画を立案する。

#### ２-６ 概算工事費算出

算出した概略数量をもとに、概算工事費を算定する。

#### ２-７ 照査

下記に示す事項を標準として照査を行う。

- ①基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。
- ②一般図を基に構造物の位置、断面形状及び構造形式等の整合が適切にとられているかの照査を行う。
- ③設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。
- ④設計計算、設計図、概算工事費の適切性及び整合性に着目し照査を行う。

## 2-8 報告書作成

設計業務成果概要書、設計計算、設計図面、数量計算、概算工事費、施工計画及び現地踏査結果等のとりまとめを行い、報告書を作成する。